

「絵ときコトワザ」の秋月実験

左司和晃

2013.4.13
全面研提出

コトワザに、伝言という意味が存します。

平たくしますと、昔から伝わっている言葉、言い伝え、ことづてする、諭し示す、といったぐあいになります。

つまり、ただの言葉ではないということです。

その中には、一言で済ませたいことが、そっと含まれているのです。

すなわち、渡世上の知恵を残しておくのだ、という配慮がみえてくるというわけです。

今風にいいますと、コトワザには、先人のメッセージが宿っている、ということになります。

そのコトワザを絵に表現すること、それが「絵ときコトワザ」です。

絵とき、「とき」には、説く、解くなどがあります。

要は、説明することです。

他人にも伝わるように、絵によって、説き明かすわけです。

横ばいの問題です。

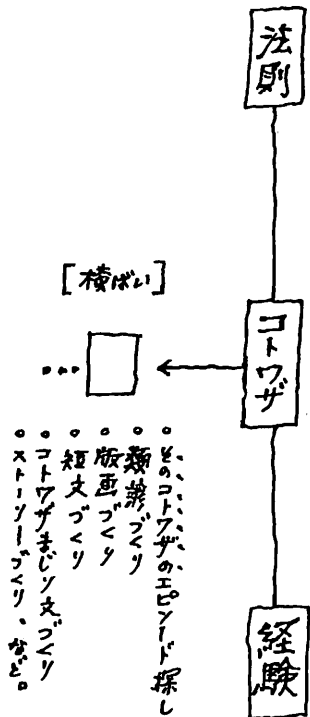
コトワザ自体も、更なるわかりやすくするからです。

コトワザは、種句的で表象的なものです。

元来、わかりにくいわけのいい言葉です。

それを、更にさらにわかりやすくしていくわけです。

認識の発展の図で見ますと、左のようになります。



要するに、横ばいとは、同じレベルの中の変化ということなのです。

だいたいな点を交えずに、その形や姿を変え、そして相応に展開していくのです。

時には、新面を切り開いていくこともありましょう。

それもこれも、ヨリ大衆化のためです。

横ばいのしごとの例としては、今の図の□の下に、○印で六つばかり並べておきました。

むしろのこと、主題としている「絵ときコトワザ」は、その例の代表的なものです。

「絵ときコトワザ」の創作には、二つの面があります。

つぎの、A・Bが、それです。

A コトワザの文字の面のイメージを絵にする。(オモテを絵にする)
B コトワザの意味の面のイメージを絵にする。(ウラを絵にする)

「大も歩けば棒に当た日」を諺にするとき、大が棒や柱に当たって、キャンキャンと鳴いて、日、絵を
らば、Aの方になリます。そしてたとえ、退院後に久しぶりの散歩に出たら、曲がノ角で、
自転車にぶつかってしまった、どのような絵ならば、Bの方になるわけです。
コトワザを「モノにした」というのは、Bの方であり、Aの方より深く理解して、日というてよい、と
しよう。

「絵とキョトワザ」の創作、その実践にはいるときは、アンケート式に「コトワザを選んで、絵にしてごらん」と、いきなりはいつても一向にかまいません。。。が、やはりリ救育的にやりたいと思います。つまるところ、コトワザの何たるかを「かみとつてもらふのが、その趣意なの」ですから。ただのアンケート式の方法は、好ましくありません。

「アンケートをなく、「レジ」と」という形に進めていきたいです。
やりっぱなしにしないで、その結果を、相手側にかえして、少しでもコトワザ配がゆたかになるようにしたいのです。せめて、各人の作品を「金銭集合」の形でプリントをし、みんなに配布したいものです。ただそれだけで、コトワザへの見方考え方がぐんと高まります。各人相応に、「あ、そうか」と学びあいが自然裏に、おこなわれていくからです。

それは、以下のプリント一枚を渡して、コトワザの世界の一面を紹介してまわります。

コトワザとの縁を深める

(1) 伝承コトダ
— 江ノ島は

むらなねつそれたよかわるをぬりちとへぼにはろい

大もきけば導にあたる
犬も狂獨
花より団子
憎まれ手世にはばかる
是な折り紙のくたびれ餅け
尻をひつて尻づめる
年寄のゆ水
腰纏もど山となる
律義人の子灰山
す美人の昼寝
るよりも閑せば光る
若いには手に従う
われ鯛にとじ置
かつたのかさ恨み
よしのずかしに天井をみる
旅は遠口に
ぬれ道すれ

総領の茶六
月夜に鯉をぬく
念には念ををがえ
泣く面を寄がさす
楽めは奇あり
経理が通れば経理ひつこむ

土着いば

京すせもひゑしめゆきさあてえこふけまやくおのあう
 壁からでたまこ
 煙の煮えたも御存知なく
 の元子すれば熱さなる
 鬼に金櫛
 臭いものに蓋
 安物買ひの蝸失い
 負けずは勝
 若は身を助ける
 文をやるにも書く手は持たぬ
 字は三界の首領
 えてに好む
 辛主の紅き赤烏帽子
 隅かくして尻かくさず
 三べん廻つて煙草にし
 聞いて飯菜買つて地獄
 油断大敵
 目の上のこよ
 知らぬ出た病
 知らぬが仏
 饑は眞なるの
 貧乏暇なし
 門前の小僧習わぬ経を読む
 背に腹はかえられぬ
 袴は身を食う
 京の夢大坂の夢

(2) 伝承コトワザ — 上方いろは

上力いのは
 一寸さきやみの夜
 輪語さき輪語知らず
 針の穴から目のぞく
 二隅から目薬
 左の眼も三度
 下の手長義隆
 豆腐にやすがい
 地獄の沙汰も金次第
 輪語に如し
 輪語に釘
 鬼をもつて集まる
 鬼も十八
 笑門には招来る
 夜縫のつらに水
 針目遠目傘のう
 立坂に水
 ねん木で腹を切る
 袖の揺るがせも他生の縁
 月夜に逢ふゆく
 猫に小判
 年時の闇夜願
 来年のことばは鬼が笑う
 馬の耳に風

あゝ 鯛のかしらも信心から
おの のみといふは鯛
やく まなうたに喰えられて陸奥へ
ふけ 下駄と味噌漬
こ 武士は走れぬど高松様
え 緑と月日
さ 寺から里へ
あ 足もとが鼻が立つ
さ 雨の先に鈴
き 鬼神に横道なし
め 幽霊の疾風
み 盲の垣のぞき
お 身は身で通る
お しわん坊の柿のさね
お 棒の下の舞
お 餅置から駒
お 餅置群
お 性ば道によつて賣し
す 雀は道で降りたて
京 京に田舎あり

(3) 創作コトワザ

- ① 振替も自分の家にははいらない (小学四年生)
- ② 地から雨
- ③ どんな虫にもじゅ命がある
- ④ 百人寄るより三人寄せ
- ⑤ あきらめはひらめき (小学生)
- ⑥ 財布は落としても単位は落とすな
- ⑦ よく野けばガラスも見えない
- ⑧ 道を探すことはできなくとも作ることはできる
- ⑨ つまみぐいも成長を助ける
- ⑩ 時は心の治療薬
- ⑪ 他人の意見に尾を振るな
- ⑫ 日向ばかりが道じゃない
- ⑬ 悪性と戦うのは戦いやすい
- ⑭ 悪口と水たまりははねかえる
- ⑮ 風と人は去って行く

(4) いちば歌

- ① 田かき文字
いろははねへとちりぬるを
わかよたれそつねならむ
うゑのおくやまけふこえて
あさきゆめみしあひもせず
- ② 愛をもちえ
色は匂へど散りぬるを
わが世に常ならむ
有為の奥山今日越えて
浅き夢見じ酔ひもせず
- ③ 埋蔵品への傷
銀行無事
銀行無事
銀行無事
銀行無事
銀行無事
銀行無事
銀行無事

(5) 絵とコトワザ



さて、どうしましょうか。

その、「コトワザ」の縁を深める」の紹介、すなわち右のプリントを、どう取扱がってあげばよいの、ごしやうが。

(1)と(2)については、最低限、よみ、かき、せ、をやりたいです。

ゆづり、と、読んであげたいのです。

なんといっても、コトワザそのものの文に接するので、すから。

.....

ほかには、たとえは、こんなふうだ。

- ・読みあける前、一今から読みますから、聞いて毎日最中、このコトワザについて、大体ワカッテテイル、というのがあったら、そのコトワザの上に「印」をつけておくようにしましょう」といって、気を持たせます。

- ・読み終わります。

- ・終わったら、「どうだったでしょうか」といって、〇をかんじようさせます。そしてその教を、江がいろはの上にかきこませます。「それは、本邦現在の教です。これから、ここを土台として、どんどんと、コトワザがふえていきますよ」といって、先行きを期待してもらいます。

上がいろはのばあいも同じです。

●なお、語句の説明も、いくつが。…質肉に応じた方がよいでしょう。

「江カいろは」

「上方いろは」

律義者 (まじめな教理がたい人)
ヨリ (有世の宝石)
はリ (水口路)
とい蓋 (修理したふた)
かつたバ (ハンセン病患者)
かさ (はいどく患者)
三界 (迷いの世界で生まるゝ日かぎり)
首枷 (首にはめて自由を動けないようとした刑具)
えこ (得意なこと)
赤鳥帽子 (赤いかわりもの)
袴 (花柳界の遊びのとりこな日)

長技散 (長い技法)
かすかい (二つの腕をつなぐための金具)
繪吉 (天子さまのこいほ)
類 (同じなさま)
ゆん木 (すりこぎ)
他生 (前の世)
進者坊 (菩提をととのえた名前)
縁 (よいあつあつせ)
様の下 (日曜の下・ふつうの家でなく寺社などの縁下り)
鬼神 (神さま)
横達 (よこしまなこと)
しゅん坊 (けちな人)
性 (種)
性 (専門のこと)

●参考として。

「コトワザの言い方が変わる」

塵積もつて山となる — 塵も積もれば山となる
念には念をうがえ — 念には念を入れ
縁の下に舞 — 縁の下に舞 — 縁の下の力持ち
「短くなったりと長くなった」

犬棒 — 犬も歩けば棒に当たる
ちりつも — 塵も積もつて山となる
論より証拠 — 論より証拠ゆり人形
縁と月日 — 縁と月日の末を待て
ぬす人の昼寝 — ぬす人の昼寝にも当るがある

旅は道づれ — 旅は道づれ世は情け
鬼に金棒 — 鬼は金棒を片腰にさした
油断大敵 — 油断大敵火がぼうぼう
貧乏暇なし — 貧乏暇なししほみ売

「留意すべきこと」

「古語の短のどき」は、歴史的文言として扱っていただきます。旨の短のどきの意味は、二階から目薬し「豆腐」が「かき」に「糠」に釘「水」木「腹」初「し」など、と同じです。こういうような意味が同じで表現がちがうコトワザも類義と呼びます。また、類表現とも呼びます。私は、前者を使っています。

●右のよう記してしまつてから、なんですが、「江カいろは」と「上方いろは」を、ここごとくばかすに、詳しく解説し、選んで、わがらせようとしないうたしましよ。今のしだいには、絵ときコトワザのための、「ネタ提供」という意味あいもこめてゐるのですから、ある程度のやりかたでよいのです。

コトワザの教育は、点数主義の強制教育ではありません。というより、そのような方向へもっていきうとしてはなりません。渡世上の知恵をゆくりとあつてのチャンスをしなうてしまふからです。もう、その前に、へんな拒否反応がおこってきます。好きにさせておきたいの、きらいなせてしまったら、それのことです。

なほしろ、コトワザそのものが、文芸として、工夫に富む面白いものですから、あせることなく、じっくりと進んでいけばよいのです。いわば、コトワザにまかせの行きかたです。要するに、追々進む主義であつて、いふことです。

あ、おに覚えていくこと、わがむだけ、結構であるといふこと、さういふ線まで進んでまゐりましよう。…その方が、ぐーんと向上していくものです。不思議なくらいです、遊説

ですから、各々の疑問したいと質問したいと、聞き耳を立てて歩みたいもの、であります。

ようやく一枚プリントの「ゴトワザ」の録を添へるの(1)と(2)とが、清んだところだす。それでは、つぎにまいりましょう。

(3) の「創作コトワザ」のところで「コトワザはつくることができる」といふことを知らせることで、そして、先輩のつくれた例を読んであげるといいです。

(4)の「いろは歌」のどこでは、いろはにほへと……は、順番を示すのに使われていますが、もとは、一つの立派な「歌」なのだ、と佐えてあげたいです。

(5)の「絵とき」コトワザのところで、この例も、先ず草の創作であること。そして、これを鑑賞しつつ、自分が創作するときの手がかりや参考にするように、と運んでいきます。絵のうち、①と②は、コトワザの意味を絵にしていること。そして、③④⑤⑥は、コトワザの文字の面の印象を絵にしていること。一を示唆してあげましょう。

かくして、「絵とき」コトワザの創作の實踐には、いってよくわけです。

「付記」

歌辭體だ、おふれが出、公文書はいろは順より五十音順が望ましい、ということになりました。「望ましい」ということになったのに、なんと「いろは順」はそれによって、ほとんど消滅いたしました。そして、公文書ばかりでなく、生活の中、執務とかの煩瑣も、五十音順をむしろ「エエの番音順」にうつてしまひました。（「いろは歌」は、平安中期以後、七五調で四句の切字にきめた歌がう。そのまゝに、これに「京」とつけて俗字にして、習字の手本として使われしました。いろはカルタなどは「京」が用ひられてゐます。）

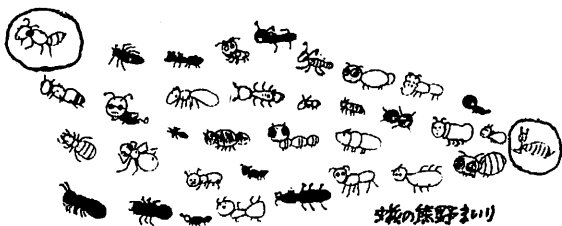
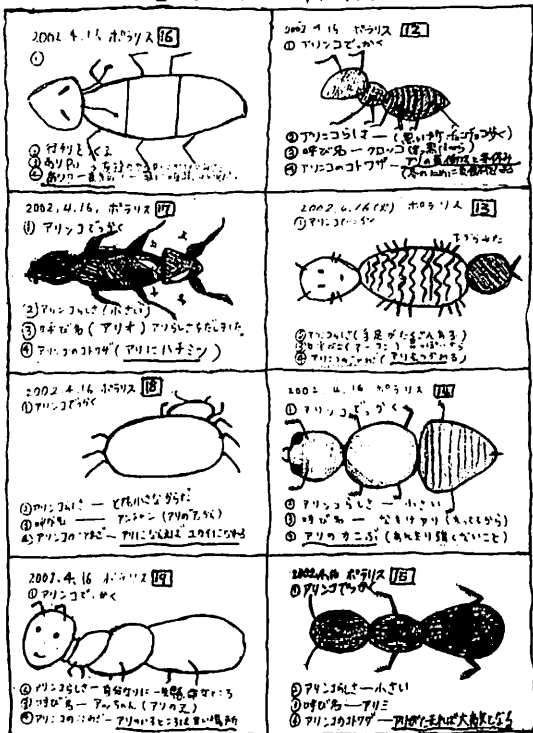
さきほど、「フツワとの塔を解かる」の一枚プリントを示しました。これは「公とミコトナレ」の教育のなかで、まず、「フツワの入門」の教育にも「創作コトワザ」の教育にも、使用することが可能です。あのプリントには、さういふ「親性」がきつていり、どうしてよいでしょう。

「ここで、今日までのことを、ふりかえっておくことにします。」

「松ときコトワサ——と、意識的に取り組む前には、認識論や論理学の講義の中で、「コトワサの認識」や「コトワサの論理」の項を立てて、「コトワサと松ときを組み合わせることをやっていました。その一部を示してみます」と、たとえ、こんなぐあいなのです。二〇〇年の頃のものなのです。



【アリンコの絵と制作コトワザ】



意図は要する



【 倉野作コトワザによる大仏お茶がらのメッセージ 】

大仏とは。文仏の精神の表徴と



そして、学生も楽しみ、私もあれこれとアレンジしながら楽しんでいました。

そうして日々よりずつと以前のことです。

「ことわざを板画にしたい」と、私のとこに呼び取ってきた人がいました。

板画院の大川泰央さんです。一九七八年でした。

そのとき、私が、コトワザ学概論のつもりで出版していた、「口をから出たまこと」(一九七三年・国土社)の本をさしあげて、話しました。コトワザの語が清んだあとに、大川さんは「やーいん」のどこをじくりと目を透して、「これで十分だ」と言って帰られました。

そして早速、そこから60個のコトワザを選んで、つくりあげたのが「ことわざ板画」です。その第一刷をいただきましたが、そこには合点させられるものが、いくつもありませんでした。しかも、一枚々々は、「民衆宝語」という真っ赤な印が、押さえていました。

民衆宝語——これが、大川さんのコトワザ観を、端的に示すものでした。よくぞつかみ切ったものです。それを裏書きするがごとく、文芸的な、のちに出版された『大川泰央ことわざ板画集』(一九七九年・板心庵)の、「ことわざ板画にやせて」とこに、こつあります。

「ことわざは、口ことばに秘められた祖先の慈愛とあると思います。自然界の風雪に對しても、執成者の力に圧せられても強く生き抜くための隠し財産として、祖先が子孫へ、親から次代を担う者たちへ、縷々として伝えられて来たものであり、時の流れに浮がぶ民衆のや相船とも呼べるものでしょう。」と。

それがこの「民衆宝語」です。

「祖先の慈愛」「隠し財産」「民衆の相船」という名をばは、まさしく古来からの、誇りや依り手としての性格が提えられており、そればかりが、大川さんの独特の鬼い入りが結晶しているといつてよろしいでしょう。

それでは、具現化された「ことわざ板画」のいくつかを見てみましょう。
 いかがでしょうか。
 なんが、あふれた感を感じていただけるのでしょうか。
 コトワザも、ここまゝで表裏化が進められて、喜んでいただけるかもしれませんが、うかがえる
 ような気がいたします。板画の強味も大いに刷り上げられているかも知れません。



しかし、です。

ここまで親しんでいても、「コトワザ板画づくり」をやってみようとか、また「絵ときコトワザ」
 に手をつけてみようとかは、一向に思い浮かびませんでした。
 講義で、遠くのところまで、かついで行って、みなさんに「ことわざ板画」を、店開きするよう
 して、ごらんいただいたとしても、歓迎はされるものの、「コトワザで板画ができるんですね」というくら

いで、格別、自分もどういふのをやってみようとは思わなかったわけです。
それはだぶん、文字本位や文章主義にとらわれており、コトワザの絵とか、板画とか版画とか、
あるいは工芸品とかの梅つ、茶味や価値に目がいかず、鈍感だったか、と思います。コトワザ、
の「例」といふ程度でつまみ食いのごとく助だったのです。それに、当時は、コトワザをつくるという「創作コ
トワザ」の教育など、み、気がはいていて、絵による大衆化の面が、かなりあることが、なっていたから、
とも思っております。

ところが、です。

ドーンと、「絵ときコトワザ」への目が向いていった「事」が存しました。

それは、時田昌瑞さんの「図説ことわざ事典」と（二〇〇九年・東京堂出版）の刊行に出会った
ことです。

それが、キッカケでした。

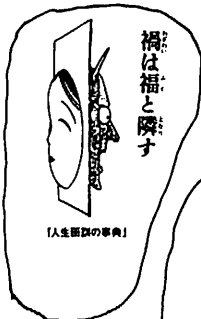
めぐって、おどろきました。

なんだ、昔ながら、コトワザを絵や図で説くことが、あったんだ、イッパイあったんだと、目をみま
たわけです。

なにしろ、A4大の綴頁の大冊です。

まったく、歴史性を持つ、大いなる集大成です。

とこたたとえ、つぎのようなのが、この集成の中に、ごろごろと出てくるんだから。
これは、見過ごすわけにはまいりません。
まずは、目を注いでみることにしましょう。



出発でなくていいわけです。

私のぼあいには、教育学的なフローチです。
とにかく、教育の方面から見ましても、藝術的な遺産のよきものを、存分に掬い取りそして活用していく道を開いていくべきです。

右は、まさに、従来の美術史への批判とともに、意識の深い主張の宿り、独創的な存在です。そこには、いうまでもなく、「漫画」の豊富なる作品群を發掘し、その「美術文化」的な価値を發見したといふ熱情がこもっておりまゝ。

この一事は、放っておいていい問題ではありません。いろいろな方面からのアプローチが考えられます。

「最後に子供の遊ばうと見せやるういふはカルタが。実は盤豆がな。嬉画の世界であつたを指摘しておきたら。」

「はじめに」の「ことわざは日本の美術文化！」のところに見えてる文章です。

さすがにプロの連中です。
うまいです。発想も、なかなかです。
コトバサの選ときながら見ても示唆的です。



今の引文中のかわりのところに、「いろはカルタ」への言及がありました。
たしかに、「いろはカルタ」の絵ふだは、じつに印象的で、コトワザの世界へ、知らぬ間に、さそってく
れたものでした。しかも、楽しさの中で、世面への目を開くと、う効能を發揮してくれたのです。
つまり、美的感覚をせしめ、世面知らずを救ってくれたのです。上から双六にしてもどうです。
さうなれば、理想的な渡世法といえ、みごとな教育的行爲であったといえるでしょう。
それにこれらは、教育史、なかでも庶民大衆の教育史において、あらためて、見直すに価する事柄でもあ
ります。

現今の問題としては、教育実践の面で、二つの「教育」が見つかります。

A 伝承藝術の教育

B 創作藝術の教育

私は、後者の方から着手しました。

「絵ときコトワザの教育実験」というテーマで動きはじめたわけです。

二〇一〇年の二月からです。

やったのは、主として専門学校にしています。すなわち、大学の定年以前から縁のあった、看護学
校や看護教員養成講習会などで、かこないました。さき、少しづつおられましたように、認識論や論
理学の講義の中の一項として、多々といへば、正味三時間か五時間をかけて、「コトワザ論」を展開したの、こ
し。その中が、絵ときコトワザの教育実験です。ついでに、オニレベルの実験です。

理論的予想

理由のあり予想

気持ち的予想

〔河津柳秋太郎全集（一九七九年・国土社）。その解説（二）の拙論
「精神政治の科学観と教育研究手法論」。443-446頁〕

この表は、教育実験のありようの、発展のレベルを示しています。
下から上へと、オニ・オニ・オニ・オニとあります。

● オニレベル 感じや気持ちを表示する素朴的な段階——いわば「気持ち的予想」
（おもしろい、この方法はうまくいくに違いない。とか）

● オニレベル 特殊な理由を表明する過渡的な段階——いわば「理由のあり予想」
（このテキストをやるとき、どうなるかも知れない。なぜなら、学生は内容を歓迎するはずだから。とか）

● オニレベル 普遍的な命題を表明する本格的な段階——いわば「理論的予想」
（このように一般的な理屈がなりたつときだ。だからこうなるであろう。とか）

今のところ、私の「絵ときコトワザの教育実験」は、オニのもの。
しかし、はやりかたとして、「コトワザの縁を深める」の一枚プリントをつくつたとして、テキスト化の右
向へ進みつつありますから、やがては、たれどもやれる方法論がたまるかも知れません。ですから、
一歩前進して、オニレベルでの実験が可能となる日もくるでしょう。
とにかく、今はオニレベルでの記録的な実績をふやしつづけるつもりです。

それへ、です。

単なる調査研究ではなく、授業実践すなわち実教育、その教育実験です。ですから、
よび、学生・生徒・児童に模をかけた、反響をおこさせたりすることは、つしむべきこと、です。いわゆる嫌
な方向へいくようなことであつてはならないわけです。端的には好きにさせることです。
ですから、実教育そのものの教育実験、その評価のオニは、歓迎度です。具体的には、成功失敗のきめ
ては、パーセントに置くのが妥当です。自信のもてるのは、そのあたりだからです。

絵ときコトワザ。

「どうははじめは、わるいが、当たって砕けろといった元柄でした。」

なかせ、学生たちの創作、その消息が少しも見えていかなかったからです。

すなわち、アマチュア側の創作もようき、ちっともつかないなかつた、というわけです。

まず、そこを知らなければ、つづき、ともあれ、一歩を踏み出していきました。

あの、四図説とわざ事典と「ことわざ板画」の中から、例として28個を選んでプリントしたものを渡して、呼び水の鑑賞し、そして私たちもやってみよう、といつてはじめてわけです。そのとき、は「大体、うまくいくかも知れない」という予想だけは、持っていました。まったくもって、素朴なレベルでの試みでした。

どうしたら、なんと、思った以上の出来でした。面白い作品が、ひとつと登場したからどす。これなら、先行きが明るいぞ、とも思いました。

そのときに出た作品は、すでに掲げました。先程の、「コトワザ」の縁を深めるの一枚プリントにあってです。あの中の、(5)の「絵ときコトワザ」の6個の例が、それです。結

結構にこなすもんです。

それに気をよくして、その後の教育実験へと、走り出したようないです。

その翌日、一応まとめておこつたというので、記した成果が、日本ことわざ学会第の目ことわざに附く一冊の魅力を感かた(二〇〇年、人間の科学新社)の一文です。すなわち、拙論「コトワザ教育の体系づくり」の中の五の節「絵ときコトワザの実験を試みる」が、それです。

今では、一つの記念となりました。

そういうことで、私のは、当面、アマチュアの一般の人たち、学生・生徒・児童たち、そこの具体の相に立脚しながら、絵ときコトワザの可能性と教育的意味をあきらかにしている、と思つて

いるわけです。

これまで、教育実験したのは、六クラスになりました。
つぎのしだいです。

- ・二〇〇〇年二月四日 於自衛隊中央病院高等看護学院・三年生 (略称・自高看)
- ・二〇〇〇年九月十二日 於東京都看護教員養成研修・卒歳前後 (略称・東京看教)
- ・二〇〇一年九月二十八日 於東京都看護教員養成研修・卒歳前後 (略称・東京看教)
- ・二〇〇二年五月二十八日 於社会保険船橋保健看護専門学校・一年生 (略称・杜保看)
- ・二〇〇二年六月一日 於ポリス保健看護学院・一年生 (略称・ポリス看)
- ・二〇〇三年一月二十八日 於自衛隊中央病院高等看護学院・三年生 (略称・自高看)

続いては、これらの創作、その作品を、この順で、掲げていくことになりました。
と、いひましても、その全部はたいへんです。学生(受講者)に渡したプリントのはじめの部分のみの提示です。いわゆる代表例といふことになります。

「クラスの全部の詳細は、たとえば、二〇〇三年の自高看の成果が、全面教育学会研究会の「年報二〇〇一」(二年度版)(二〇〇三年四月日発行)に、「絵ときコトワザ」の創作」として載っています。

そのあとに、「絵ときコトワザ」の教育実験をやってみての評価(成功失敗)を、主として「歓迎度」の面から、言及していくことになります。その重要な一は、学生の書いてくれた「やってみての」「感想」を分析して、その結果を発表することになります。

その創作の作品例を、順に掲げますと、左のようになります。

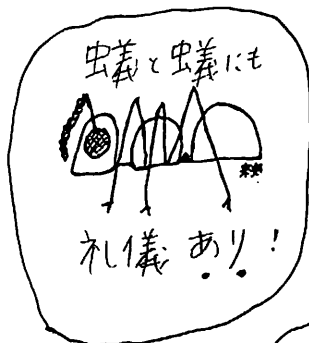
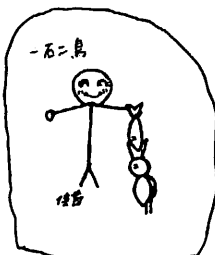
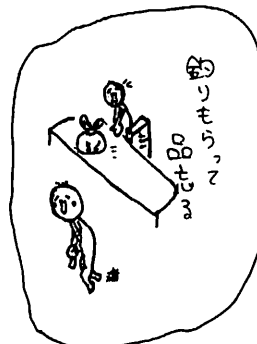
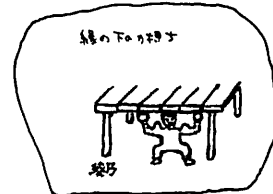
「二〇一〇年二月四日 自高看三年生」

創作
絵と文
コトワザ

2010

コトワザのイメージ化とたのしみ
「コトワザ」を「絵」にする。
「たとえ」をさらに「表現化」して、
「ありは」図で表現する。

目 目 目



1. この作品例と「おぼろがき」とで、「絵とコトワザ」の骨格が、大体がたまった。
2. 一枚アクリルの「コトワザ」の絵を、その中に「絵とコトワザ」の例は、この作品例から選んだものであり。

- (3) 表現論的には。
- ① 「絵」の表現は、ストリークの表現が、
(C)の、(C)の、(C)の、(C)の、
上から、(C)の、(C)の、(C)の、
② 絵の表現は、ストリークの表現が、
(C)の、(C)の、(C)の、(C)の、
上から、(C)の、(C)の、(C)の、

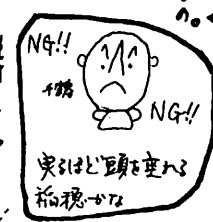
- (2) 表現論的には。
- ① コトワザの表現は、ストリークの表現が、
(C)の、(C)の、(C)の、(C)の、
上から、(C)の、(C)の、(C)の、
② 絵の表現は、ストリークの表現が、
(C)の、(C)の、(C)の、(C)の、
上から、(C)の、(C)の、(C)の、

【おぼろがき】

- 1) 目録にのりかた。
- ① コトワザの表現は、ストリークの表現が、
(C)の、(C)の、(C)の、(C)の、
上から、(C)の、(C)の、(C)の、
② 絵の表現は、ストリークの表現が、
(C)の、(C)の、(C)の、(C)の、
上から、(C)の、(C)の、(C)の、

創作 絵ときコトワザ 2010

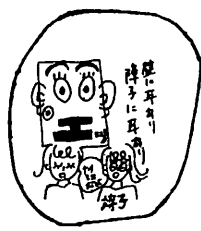
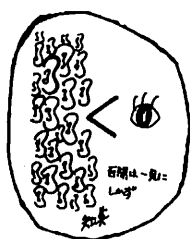
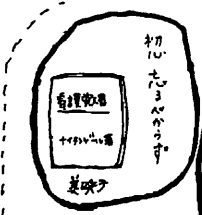
① 絵解き型——コトワザの世界（読者の意味）を論じたもの。



② 絵解き型——コトワザの世界（表現の言葉）を論じたもの。



表現をする。表の世界がある。コトワザの絵だのありがた。

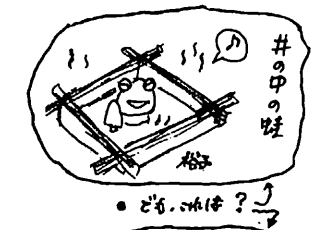
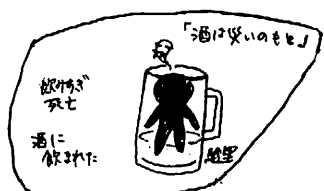
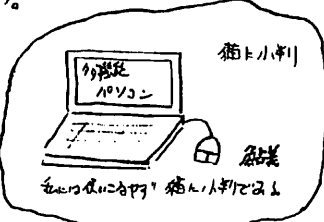
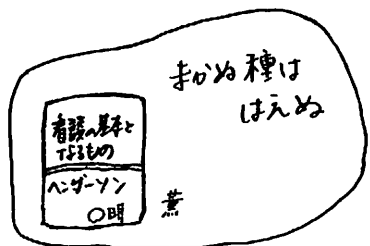


【注】このあたりから「絵ときコトワザ」の絵とき「絵解き型」と「絵描き型」の2つあることを見出し、読者のありがたさを、よく意識するようになった。

絵ときコトワザ 2011——認識論の实践（「認識」が「表現」として外出したとき）

・「認識」が「表現」として外出したとき、絵ときコトワザの「認識」が「表現」として外出したとき。

・絵ときコトワザは、直感論の「コトワザ」の意味がわかるために、絵ときコトワザの「理解度」と「認識力」とが、自然に湧き出てきます。絵ときコトワザは心の使いとわがやります。絵ときコトワザは心の使いとわがやります。



・みなさん、うまいです。センス、あふれていきます。コトワザが、わがやります。コトワザが、わがやります。コトワザが、わがやります。